

▼高齢者支援センター職員と民生委員の皆さん
各センターでは、民生委員をはじめとする地域の皆さんと、普段から顔の見える関係を構築。地域のネットワークで、高齢者の皆さんを見守り支えています。



特集

地域みんなで支える

高齢者支援センターと地域のネットワーク

問合せ／高齢福祉課地域支援センター(☎232-9110)

● 高齢者支援センターとは

住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく生活していくためには、自身の健康状態などを把握し、早めに介護予防に取り組んだり、適切なサービスを受けたりすることが大切です。

市では、医療・介護・予防・生活支援などを一体的に提供する仕組みを支える機関として、平成27年度から「高齢者支援センター」を設置しています。市民の皆さんの生活に寄り添いながら、きめ細かな支援を行うため、日常生活圏域ごとに8つの支援センターがあります。

※各高齢者支援センターの担当地区など、詳細は、7ページをご覧ください。

● 地域みんなで支えます

各支援センターでは、主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)や社会福祉士、保健師などがチームを組んで、さまざまな高齢者への支援を行っています。

その支援体制はセンター内だけでなくとどまりません。地域の民生委員や町内会長、医療・介護の関係者、警察や他の行政機関などと普段からネットワークづくりをしています。しっかりと情報を共有し、それぞれの専門知識や技能を生かすことが、ひとりひとりの高齢者に合った支援につながります。

2

地域の連携や協力体制を支えます

地域の民生委員、医療・介護の関係者などと連携・協力し、高齢者の生活を支援するために必要なネットワークづくりをしています。また、ケアマネジャーが抱えている問題・課題の解決に向けた支援も行います。



顔の見える関係をつくり、みんなで考え、みんなで支える

主任ケアマネジャー 日高友紀子さん
(東部高齢者支援センター長)

地域の高齢者を見守り、支えていくためには、支える側となる仲間を増やすこと、そして顔の見える関係をつくるのが、とても大切です。高齢者支援センターの職員だけでは、困っているすべての高齢者の皆さんの声に応えることはできません。そのため私たちは、民生委員や町内会長、医療・介護の関係者、行政機関の方など、地域で活動している皆さんとのネットワークづくりを普段から進め、みんなで支える体制を構築しています。

また、地域で活動する皆さんが集まり、実際の事例を共有し、対応策を考える「見える事例検討会」や、地域の課題を解決するための「サポーター会議」を定期的開催。ネットワークの中で課題を見つけ、みんなで考えることに取り組んでいます。

こうした取組の中で、すごろくをとおして認知症を学ぶことができる「認知症456(すごろく)」や、シーン別の対応方法をわかりやすくまとめた「認知症789(しちはちきゅう)」などもできました。どちらにも、地域の皆さんの経験や意見を反映しています。顔の見える関係があったからこそ、つくることができたといえます。

認知症456(すごろく)や認知症789(しちはちきゅう)の詳細は、市ホームページをご覧ください。地域支援センター(☎297-5903)にお問合せください。



[上]日高さん(前列中央)と東部高齢者支援センターの皆さん [下]サポーター会議の様子



1

相談や悩みを伺います

高齢者の皆さんやその家族、地域の方からの相談や悩みを伺い、必要な情報の提供や、サービスの紹介などを行います。相談は無料です。

高齢者に関することについて、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などの専門職が、相談に応じますので、まずは高齢者支援センターにお電話ください。

※居住する地区によって担当するセンターは異なります。担当地区や電話番号など、詳細は、7ページをご覧ください。



▼本人から…

- ・介護サービスについて詳しく知りたい
- ・施設を利用してみたい

▼家族から…

- ・最近、親の物忘れが気になる
- ・親がお金の管理をできなくなってきた

▼地域の方から…

- ・近所にいる一人暮らしの高齢者が心配
- ・最近、郵便受けに新聞がたまっている

ひとりひとりの人生観や生活歴を尊重し、支援へつなげる

主任ケアマネジャー 野口久美さん
(中央高齢者支援センター長)

毎日、たくさんの相談が寄せられており、年間の相談件数は、すべての高齢者支援センターを合わせて2万件以上になります。なかには、何から相談したらよいかのわからないというほど、問題が山積みだったり、複雑化してしまったりしている方もいらっしゃいます。

私たちは、その人が今、何に困っていて、何を思っているのか、しっかりとお話を伺ったうえで、状況を整理し、適切な支援につなげるお手伝いをしています。その際に大切にしていることは、ひとりひとりの人生観や生活歴などを尊重することです。一見すると似たような状況であっても、解決策や支援の方法は、それぞれ違います。

地域みんなで、しっかりサポートしていきますので、お近くの高齢者支援センターに、ぜひ相談してください。



野口さん(前列中央)と中央高齢者支援センターの皆さん

高齢者支援センターの4つの主な業務

まずはお近くの高齢者支援センターに お気軽にご相談ください

中央 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第一中、第二中
場所／東原3-2-11水高スクエア内
電話番号／306-9582

南部第一 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第四中
場所／酒門町4231-2ケアハウスみと内
電話番号／246-5690

北部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／飯富中、国田義務
教育、第五中、石川中
場所／石川4-4039-26介護老人保健施設
はあもにか隣
電話番号／246-6003

常澄 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／常澄中
場所／塩崎町3503介護老人福祉施設グ
リーンハウスみと内
電話番号／246-6155

※いずれも受付時間は午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)。

東部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／第三中、千波中
場所／吉沼町1429-12まるごとカフェ内
電話番号／246-6216

南部第二 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／緑岡中、見川中、
笠原中
場所／千波町1677葉山荘内
電話番号／241-4821

西部 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／赤塚中、双葉台中
場所／双葉台2-1旧地区センター内
電話番号／246-6333

内原 高齢者支援センター

担当地区(中学校区)／内原中
場所／鯉淵町2222-1特別養護老人ホーム
もみじ館内
電話番号／257-5466

高齢者に関する講座のご案内

在宅医療・介護の お話し会

住み慣れた地域で心豊かに暮らす
ため、在宅医療や介護について考え
てみませんか。
日時／10月13日(水)、午前10時～11
時30分 場所／常磐市民センター
定員／20名(定員になり次第締切り)
料金／無料 申込み／当日受付
問合せ／水戸在宅ケアネットワーク
事務局(☎228-6100)または市地域
支援センター(☎232-9110)

在宅医療講演会

訪問診療医から、在宅で療養す
るための知識を学びます。
日時／11月12日(金)、午後1時30
分～3時30分 場所／市福祉ボラ
ンティア会館(ミオス2階) 対象
／市内に居住する方 定員／40名
(定員になり次第締切り) 料金／
無料
申込・問合せ／11月5日(金)まで
に、電話で、南部第二高齢者支
援センター(☎241-4821)へ

食善(しょくよ)く講座

いつまでも健康に暮らすために、低栄
養予防について学んでみませんか。
場所・期日／上大野市民センター…11月
12日(金) 双葉台市民センター…12月17
日(金) 時間／午後1時30分～2時30分
対象／市内に居住する65歳以上の方 定
員／15名(定員になり次第締切り) 料金
／無料
申込・問合せ／10月5日(火)から受けま
すので、各開催日の1週間前までに、電
話で、地域支援センター(☎297-5903)へ

3 虐待や消費者被害の防止に取り組みます



高齢者への虐待の早期発見、
振り込め詐欺や架空請求等の消費者
被害の未然防止、成年後見制度の紹
介などを行います。

▼このような場合はご相談を…

- よく隣の家から怒鳴り声が聞こえてくる
- ご近所さんに怪しい業者が出入りしている
- 介護をしている際に、親にきつくあたってしまう

兆候を見逃さず、本人と家族に寄り添う

社会福祉士 吉田克也さん
(南部第一高齢者支援センター長)



虐待を防ぐためには、高齢者とその家族の、ちょっとした兆候や変化を
見逃さず、早期の発見につなげることが大切です。何か心配なことがあれ
ば、ひとりで抱え込まず、早めに高齢者支援センターなどに相談してほし
いと思います。

虐待を受けている方への支援はもちろん、虐待をしてしまった家族の方
などへのフォローも大切にしています。厳しい状況におかれていることは
本人も家族も同じ。虐待に至るまでの背景や事情を理解し、それぞれに寄
り添って、継続的な支援を行っています。

4 健康を保って暮らせるように支援します

4



要介護状態にならないようにするため、さまざま
な支援を行います。本人の状態や希望を把握したう
えで、足腰の強化や認知症予防に取り組む教室、ホー
ムヘルパーによる家事援助、デイサービスなどを利
用できるようお手伝いします。

自宅で元気に暮らしたいという願いを叶えるために

社会福祉士 酒寄之枝さん
(北部高齢者支援センター長)



相談に行ったら「すぐ施設に入れられてしまうのでは…」と心配さ
れる方もいらっしゃいますが、そんなことはありません。自宅で元
気に暮らしたいという、高齢者の皆さんの願いを叶えられるよう、
しっかり本人と話し合ったうえで、適切な支援をしたり、情報を提
供したりしています。

自宅でサービスを受けることができる、訪問型の介護予防事業な
どもあります。高齢者支援センターに、ぜひ相談してください。